

5 まちの空間構造

豊かな自然環境や変化に富んだ地形条件を守り、これまで築かれてきた市街地や広域交通基盤などの既存資源を最大限に活かしながら、本町における定住機能や連携・交流機能を高め、環境や都市経営の観点からも持続可能となる、まちの空間構造の形成を図ります。

1) 拠点の形成

(1) 活力拠点

黒田原地区のJR黒田原駅周辺においては、居住、商業、工業、行政などの都市機能が集積し、本町の様々な活動が展開される中心地としてふさわしい環境を形成します。

(2) 定住拠点

JR高久駅周辺地区や新高久地区においては、周囲の自然環境と調和した快適でゆとりある暮らしを支える良好な定住環境を形成します。

(3) 観光拠点

湯本地区や那須高原地区、芦野地区等の町内拠点エリアにおいては、自然資源や歴史資源、温泉資源などの魅力を高めるとともに、周囲の景観と調和した観光関連施設の適切な立地を促し、国内外の広域的な観光の受け皿となる環境を形成します。

(4) 交流拠点

広谷地地区や伊王野地区の道の駅を交流拠点に位置づけ、観光客のみならず、地域のさまざまな生活ニーズを支える機能強化に努めるとともに、芦野地区の遊行庵についても交流拠点化を推進します。

2) ゾーンの形成

(1) 自然環境ゾーン：那須連山

日光国立公園や那須連山など貴重な自然環境・景観を有する区域については、環境の保護や生態系の維持を基本に、将来にわたり保全に努めます。

(2) 森林ゾーン：八溝山地

八溝山地の森林をはじめ豊かな自然環境・景観を有する区域については、農業生産基盤や林業生産基盤との調和を基本に、将来にわたり保全に努めます。

(3) 田園・平地林ゾーン

田園地帯や平地林など緑豊かな自然環境との調和を基本に、農業生産基盤の保全を図りながら、良好な集落地や優良な保養地としての環境形成に努めます。

(4) 住宅ゾーン

商業・業務の場との近接性や交通アクセスの利便性など、それぞれの地区が持つ立地特性に応じながら、生活環境の向上を図り、良好な居住環境を有する住宅地の形成に努めます。

(5) 商業・業務ゾーン

JR黒田原駅周辺については、既存の商業機能の向上による日常的な生活を支える近隣商業地の形成に努めるとともに、湯本地区周辺については、周囲の自然景観と調和した店舗・施設等の適切な集積・立地による観光商業地の形成に努めます。

(6) 工業ゾーン

菱喰内工業団地や黒田原地区の準工業地域については、広域交通アクセスの利便性を活かしながら、周囲の自然環境と調和した良好な操業環境の維持・充実に努めます。

3) 軸の形成

(1) 広域交流軸（高速道路・国道）

【東北縦貫自動車道、一般国道4号】

東京圏や東北圏、県都宇都宮市等との広域的な交流を担い、本町の産業活動の振興や観光の活性化を促す骨格軸として位置づけます。

(2) 交流軸

【一般国道294号、主要地方道那須高原線・矢板那須線・那須西郷線・黒磯棚倉線、一般県道豊原高久線等】

周辺市町との連絡や町内の各地域の交流を担い、本町の日々の暮らしを支える主要な軸として位置づけます。

—図：まちの空間構造—



	活力拠点		定住拠点		観光拠点		交流拠点（道の駅等の拠点施設周辺）				
	自然環境ゾーン （那須連山）		森林ゾーン （八溝山地）		田園・平地林ゾーン		住宅ゾーン		商業・業務ゾーン		工業ゾーン
		広域交流軸（高速道路）				広域交流軸（国道）				交流軸	